

ロベール・ブレッソン

Robert Bresson

生年月日 1901/09/25

出身地 フランス／ピュイ＝ド＝ドーム

没年 1999/12/18

【バイオグラフィ】

■当初は画家を目指していたが、映画に興味を持ち34年に中篇“Les Affaires publiques”を発表。その後シナリオライターや撮影スタッフとして活躍し、43年に初の長編“Les Anges du peche”を監督した。49年にはジャン・コクトーらとともに、後の“カイエ・デュ・シネマ”の母体とも言うべき組織“オブジェクティブ49”を創設。真実の映画を追究する自らの作風を“シネマトグラフ”と名付けた。代表作は「ブローニュの森の貴婦人たち」、「抵抗（レジスタンス）－死刑囚の手記より－」、「スリ（掏摸）」、「ラルジャン」などがある。99年、老衰のために死亡した。

【フィルモグラフィ】

ラルジャン（1983）	監督, 脚本
たぶん悪魔が（1977）	監督, 脚本
湖のランスロ（1974）	監督, 脚本
白夜（1971）	監督, 脚本
やさしい女（1969）	監督, 脚本
少女ムシエット（1967）	監督, 脚本
バルタザールどこへ行く（1964）	監督, 脚本
ジャンヌ・ダルク裁判（1962）	監督, 脚本
スリ（掏摸）（1959）	監督, 脚本
抵抗（レジスタンス）－死刑囚の手記より－（1956）	監督, 脚本
田舎司祭の日記（1950）	監督, 脚本
ブローニュの森の貴婦人たち（1944）	監督, 脚本
罪の天使たち（1943）	監督, 脚本